



ルーテル学院だより

No.135
2018.6.15

http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405
発行人 市川 一宏

ゼミ探訪 「地域開発総論」



地域福祉開発コース主任
山口 麻衣 教授
(専門分野) 高齢者福祉、老年社会学、社会福祉実践調査

今回は、「地域開発総論」についてご紹介いたします。

Q 地域開発総論では、何を学ぶことができますか。

A 地域開発総論では、誰もが地域でその人らしく安心して暮らすことができる多文化共生の地域社会づくりと生活基盤を開発する力を養うことを目指しています。地域福祉開発コースの4年生にとっては集大成の授業となっていますが、希望する他のコースの学生も一緒に学んでいます。地域課題や地域福祉の従事者間の多様な連携、ネットワークなどを総合的・多面的に理解できるようにすることが目標です。

Q どのような形式で学ぶのですか。

A オムニバス方式で、地域福祉、地域人材育成、国際開発、地域開発方法の4つのテーマごとに、具体的な実践事例、地域事例をもとに、地域のような課題にどう取り組んでいるのか、困難を伴う課題は何か、どう対処しているのかなどを体系的に学びます。

Q オムニバス方式とはどのような方法ですか。

A オムニバス方式とは、関連したテーマで複数の教員がそれぞれの専門

性に沿って教える方法です。市川一宏先生は地域福祉論の観点から、生活困窮者自立支援、社会的養護、地域包括支援システム、介護保険の総合事業をテーマに教えてくださいます。金子和夫先生は、地域人材育成論の観点から、社会福祉士、民生委員・児童委員、公務員などの地域福祉に関わる人材について教えてくださいます。原島博先生は、国際開発論の観点から、人間開発(HD)と持続可能な開発目標(SDGs)、地域開発と参加型開発、国際協力の役割と仕組み(国連・政府・NGO・市民社会)、国際協力と地域開発実践などについて教えてくださいます。私は、地域開発方法論の観点から、地域ニーズの把握方法や地域で暮らす人々を支える多様な人々の間での連携を促す手法などについて教えます。



は、地域開発方法論の観点から、地域ニーズの把握方法や地域で暮らす人々を支える多様な人々の間での連携を促す手法などについて教えます。

Q ゼミはどのように展開されますか。

A 少人数のゼミなので、講義だけではなく、互いに議論する、自分なりに考えて発言するなどの学び合いが中心となります。例えば、私が担当する「地域におけるプログラム開発法」では、自分の考えた地域課題を解決するプログラム案を具体的に考え、だれを対象に、どのような方法でプログラムを実施するのか、アウトカムやインパクトは何かをまとめて、互いに発表しあいます。最初は、自分でプログラムを開発するといわれてもアイデアが浮かばなかった学生が他の学生の意見や

関心事を聞くことにより、だんだんと地域でこんなプログラムがあればいいと思いつくようになり、とてもユニークな発想のプログラムが提案されることもあります。

Q 地域開発総論のゼミの魅力はなんですか。

A 地域福祉の4人の先生が、卒業までにこれだけは知っておいてほしいという熱い思いで授業を展開していることが最大の魅力です。地域開発総論は座学が中心ですが、「地域支援技法」という三鷹市・小金井市・武蔵野市の地域福祉ファシリテーターをめざす市民が学ぶ授業を学生と一緒に受講するので、地域開発総論での体系的な学びを地域支援技法による体験的な理解をもとに应用到ることにより、学びを深めることが期待されます。さらに、卒業後、様々な福祉現場で働くようになってから、本ゼミでの学びの本質的な意味合いや、課題に気づくこともあるでしょう。4年生という最終学年で地域福祉に関心のある学生がともに学び、語りあうことも本ゼミの大きな魅力です。本学が5コース制となり始まった科目でまだ2年目でありますが、将来はこのゼミで学んだ先輩をゲストスピーカーとして招いて、現場の課題はなにか話してもらいたいですね。



は、地域開発方法論の観点から、地域ニーズの把握方法や地域で暮らす人々を支える多様な人々の間での連携を促す手法などについて教えます。

キリスト教月間

について

キリスト教人間学コース4年 新井 航
(都立農芸高等学校出身)

ルーテルでは、年度の初めに「キリスト教月間」という期間を設けています。キリスト教月間とは、キリスト教の礼拝に来たことがない、慣れていない学生たちに礼拝がどのようなものであるか、知ってもらい感じてもらう、いかなれば神様と新人生のアイスブレイクです。また、普段、教会の礼拝に通っている学生にとっても、礼拝がどのようなものか再確認する機会となります。はじめの第一週は「お祈りってなんだろう」、「御言葉ってなんだろう」、「聖餐ってなんだろう」ということをテーマに3回に分けて、礼拝

について知ってもらったための礼拝でした。その次の週はキリスト教分野から上村敏文先生、一般教養からジャン・プレゲンズ先生、福祉分野から原島博先生、高山由美子先生、臨床心理分野から谷井淳一先生と各分野の先生方にメッセージを頂きました。その次の週はテゼ共同体の祈り、フィンランドの楽器であるカンテレによる礼拝、神学生礼拝、EVENING PRAYERがもたれました。

ルーテルの学生にはノンクリスチャンの方、ルター派以外の宗派の方がいますが、その方たちの持つ礼拝のイメージの形は皆違ひ、同じものではないでしょう。キリスト教月間では様々な礼拝の形があり、様々な視点から神様の御言葉を聞けること、そしてどの礼拝の中心にも必ず神様がいらっしゃることを知ることが

きました。普段、大学で行われている礼拝では学生もメッセージをしています。様々な学生の口を通して神様の御言葉が語られる場です。このような素晴らしい場が与えられ、守られているその恵みに感謝です。



2017年度 社会福祉士 国家試験合格率

76.5パーセント
(都内私立大学第3位)

第30回社会福祉士国家試験の結果が発表され、本学の社会福祉士現役合格率は76.5% (全国平均合格率30.2%) でした。現役受験者数10名以上の都内私立大学の中で合格率第3位です。

高校生のための体験講座

要予約

7月24日(火)・25日(水) 2日間のプログラム 10:00~16:00

9月17日(月・祝) 10:00~16:00

オープンキャンパスのご案内

予約不要

6月10日(日) 13:00~16:30

6月30日(土) 13:00~14:30 保護者・編入学・社会人対象

7月14日(土) 13:00~16:30

8月5日(日) 13:00~16:30

8月25日(土) 13:00~16:30

プログラムの詳細は、本学ホームページ、スマートフォンサイト、DMはがきでご確認ください。

<オープンキャンパスについてのお問い合わせ先>

TEL 0422-32-2949 (企画広報センター) メール koho@luther.ac.jp

6月~9月行事予定

6月6日(水) 学生総会

6月10日(日) 受験生のためのオープンキャンパス

6月30日(土)

保護者会
オープンキャンパス(保護者・編入学・社会人対象)
ホームカミングデー

7月11日(水) 夏祭り

7月14日(土) 受験生のためのオープンキャンパス

7月24日(火・25日(水))

高校生のための体験講座

7月28日(土) 通常授業終了

7月30日(日)~8月4日(土)

前期試験期間

8月5日(日) 受験生のためのオープンキャンパス

8月25日(土) 受験生のためのオープンキャンパス

大学を知り、自分を高めよう

福祉相談援助コース2年 鈴木 希

(秋田県立秋田明徳館高等学校出身)

高校時代、ボランティアがきっかけで福祉の世界に興味を持ちました。中でも相談援助の仕事に魅力を感じていたため、大学で福祉を学び、社会福祉士を目指そうと決意しました。インターネットで様々な福祉系大学を調べ、ルーテルを知りました。国家試験の合格率の高さや、少人数で学生一人ひとりを大切にしている点に惹かれ、オープンキャンパスに参加しました。その際に、先生方や学生の温かさを実感し、ルーテルを受験することに決めました。

私自身の相談援助の仕事に対す

る熱意を存分に伝えることができると思い、受験方法としてAO入試を選びました。AO入試は、課題の提出と面談があります。課題では、体験講座に参加した感想と、部活動で学んだことについて書きま

葉が詰まってしまいました。先生方は丁寧に聞きながら聞いて下さいました。

AO入試に向けて重要なことは、「オープンキャンパスや体験講座に参加すること」「アピールポイントを沢山作る」と「だ」と私は思います。まずはオープンキャンパスや体験講座に参加して実際の雰囲気を感じ、ルーテルの良さをもっと知って欲しいと思います。また、高校生活の中で、部活動やアルバイトに励んだり、学校行事で様々な役割を担ったりすることによって、自分の頑張りを面談でアピールできると思います。高校生活の一日一日を大切にしながら、自分のアピールポイントを沢山作ってみてください。

AO入試 合格体験記

やる気のアピールが決め手に

臨床心理コース2年 井上 天積

(私立東海大学附属望星高等学校出身)

私は中学生の時に、ある病気にかかり、学校に行けなくなりました。通信制の高校へ進学し、将来何にしたいか悩んでいる時、私は自分と同じ境遇の子どもの助けになりました。と考えると、スクールカウンセラーを目指すために心理学を学ぶことを決めました。しかし、受験の準備が十分にできていなかった私は、一般受験で大学に合格し、心理学を学ぶのは難しいのではないかと考えていました。

それでも、心理学を学びたくて大学を探している時に見つけたのが

ルーテル学院大学でした。オープンキャンパスに行ってみると大学の雰囲気も良く、体験講座では学びたいことをしっかり学べると確信しました。そして、AO入試では、自分が学校にぴったりな人間だとアピールすることで受験することができると知りました。ミッシェン系の大学であるルーテル学院大学にとって、クリスマスチャンであり、心理学を学びたいという意欲がある私は大学が求めている存在だと思い、AO入試でルーテル学院大学を受験することを決めました。

入試内容は、「高校生の時に頑張ったこと」「オープンキャンパス、体験講座に参加した感想」の課題提出と面談でした。課題は、親、高校の先生、塾の先生に何度も添削して

もらいながら何回も書き直しました。面談も塾で練習をして挑みましたが、練習した質問はほぼ聞かれず、練習で役に立ったことは挨拶と態度ぐらいだったと思います。しかし楽しく話していたらいつのまにか終わっていたという印象でした。

ルーテル学院大学のAO入試は学力だけではなく、やる気やアピールする受験方法です。オープンキャンパスや体験講座に参加して、ルーテルの雰囲気や、何が学べるかを知ってください。そして、自分はこの大学にぴったりだと思えば、ぜひルーテル学院大学を受験してみてください。



新任教員からの「あいさつ

宮本 新 専任講師

(専門分野 キリスト教、組織神学、宣教学)



本学を卒業して18年。牧師として歩み、戻ってきました。建学の精神「キリストの心を心とする」に学び、希望と可能性を学生たちと探り求めたいと思っています。

松田 崇志 助教

(専門分野 認知心理学、高齢者心理学)



本年4月より着任しました松田崇志です。専門は認知心理学や高齢者心理学です。心理学を学ぶことが楽しくなるような授業を目指しています。一緒に楽しく学んでいきましょう。

大曲 睦恵 助教

(専門分野 子ども、グリーフサポート、メンタルヘルズ)



一昨年ルーテル学院大学大学院で博士号を取得しました。学生として通っていた頃から、ルーテルは大好きな場所です。教員として1年生で、慣れないことだらけですが、皆さんとお話したり、学びのお手伝いをさせていただくことを楽しみにしています。

クヌーテン講演会報告

チャプレン 河田 優



1978年から開催されてきたクヌーテン講演会では、数多くの講演者を招き、本学が取り組む教育・研究の分野からキリスト教を土台とした働きについての講演がなされてきました。本年度の講演者はヴォーリズ記念病院チャプレンの安部勉先生です。5月9日、講演会を「いのちの輝く時」ホスピスの出合いを通して」としてなされた講演には、約130名の学生、教職員が訪れ、安部先生の話に耳を傾けました。

講演の前半は、勤めておられる病院とホスピスの説明でした。安部先生は、病院の名前にもなっている宣教師ヴォーリズが設計した建物をスクリーンに映しながら、ハードの面でも患者さん一人ひとりへの心遣いがなされていることを紹介してくださいました。確かに中世ヨーロッパをイメージする建物は自然の中に溶け込む暖かさを



持った造りであり、そこで過ごす患者さんたちの心を穏やかにするように感じました。講演の後半は、死を見据えて生きることについての話でした。誰もが迎えなければならぬ死ではあるが、それを終末の時として恐れるばかりではなく、死の先にさらなる希望を持ち、穏やかに日常を生きていく大切さを教えてくださいました。まさに、このことがヴォーリズ記念病院での取り組みであり、ミッシェンスクールである本学で学び、対人援助へと向かう私たちにとっても大きな学びとなったのです。

オリエンテーションフォーラム報告

オリエンテーションフォーラム副委員長

子ども支援コース4年 平川実和子

(私立聖望学園高等学校出身)

4月は新たな出会いの季節です。入学した1年生にとって初めての行事がオリエンテーションフォーラムとなります。このオリエンテーションフォーラムとは新入生だけではなく、先生方や先輩ともお話をすることができます。今年のオリエンテーションフォーラムは「ルーテル・ツナガル」をテーマに掲げました。フォーラムはチャペルでの開会礼拝で始まり、開会礼拝が終わると目的地である相模湖プレジャーフォレストへ出発です。バスの中では、新入生の緊張がほぐれるよう、自己紹介や簡単なレクリエーションを行いました。到着すると現地の方から説明を受け、ビープシチューとパン作りのスタートです。調



繋がりができ、この大学でもっとたくさんの繋がりを大切に、素敵な大学生活を過ごして欲しいです。